



## 線香ではなく アロマオイルで 故人と向き合う 新しい供養のカタチ



現代の生活に合わせた新しい供養のカタチ「アロマ供養」。「時間に余裕がない」「火元が心配」「線香のニオイが気になる」という声から日常の供養を現代風にアレンジ。線香の代わりにアロマ2滴を手向けて偲ぶスタイルだ。

『株式会社カケル』が「生活の木」と共同で開発したオイル『いろ香』は、2種類の香りをラインナップ。「ラベンダー&ピヤクタン」は、安眠、安らぎ効果があるといわれているラベンダーの香り「故人に安眠を」「遺族に安らぎを」という思い。「朝の緑茶」は、生前に最も食したであろう食べ物「炊き立てご飯」と「お茶」を香りにしたものだ。

また、大切な人との別れによる悲しみを和らげ、「来世でも会いたい」という想いをカタチにした『会符(えいふ)』や最期をキレイな姿で送り出したいという想いからできた石油系を原料とする繊維を使わない『溶けない仏衣・布団・柩』など供養に新しい風を吹き込む商品を開発し続けている。

(ライター／播磨杏)



「いろ香」  
「ラベンダー&ピヤクタン」「朝の緑茶」



「ご進物」としても利用されている。



「会符」

一つの木の札に名前を書き、名前の中心で二つに割る。名前がぴったり合うものは一対しかない。それぞれの故人と遺族、つながりのあった人が持つことで、来世で再会のしるしの札となる。  
※特許出願中

株式会社 カケル

☎ 059-337-8788  
✉ mail@kk-kakeru.com  
📍 三重県鈴鹿市三日市町997-1  
<https://www.kk-kakeru.com/>